

■令和7年度第2回坂井市地域公共交通会議 意見対応

指摘箇所	意見要旨	対応	計画対応頁
「基本的な方針」について	現行の基本的な方針からは、やはりトーンダウンの印象。「まち・くらしの質を高める」というのはとても良い。	「みんなで使い、まち・暮らしの質を高める持続可能な公共交通の実現～みんなの意識を高め、使って支える公共交通～」を基本的な方針とし、説明文は合わせて修正しました。	P15
	現行の「みんなで使い」というところが、自分事として捉えやすい。		
	「みんなで使い、まち・暮らしの質を高める持続可能な公共交通の実現」はそのまま継承し、サブタイトルとして、「～みんなの意識を高め、使って支える公共交通～」を加え、今回の計画の方向性を出してはどうか。		
目標について	目標の利用者数の増加、収支率の改善、公的負担等は関連するところなので、整合性がとれるように。	留意しました。	P17～18
	目標5「整備・充実に関する満足度の向上」としてあるがアンケートでの聞き方は「整備・充実に関する」となっているのか。	アンケート設問のとおり「公共交通に対する満足度」としました。	P18
具体的な施策について	目標1) 施策①「異常気象時の早期運行確保」とあるが、事業者においては、異常気象時には計画運休等にて対応するのが時流であり、早期運行確保には対応できない場合が多々あると考えられる。	「異常気象に備えた体制の構築」に修正しました。	P20、P24
	目標2) 施策① カーセーブや運賃割引、免許返納支援事業など、継続して取り組むのは良いが、現計画で取組み、公共交通の利用促進に効果があったのか、結果を踏まえて継続となっているか。	意識の醸成には寄与していると考えており、引き続きの施策とします。	P29
具体的な施策について	目標3) 地域の役割は大変重要。地域住民にも積極的に関わっていただくべき。	まちづくり協議会と連携することで地域住民により積極的に関わっていただけるような取組を推進します。	P36
	カーセーブや公共交通の利用促進は現役世代は強制的に取り組まなければ促進していかないと思う。子育てで「生まれて初めての公共交通」として、初めての体験を促す取組みなどはどうか。	公共交通に乗るきっかけづくりの取組を実施する中で検討していきます。	P36

■その他修正箇所

修正箇所	内容	計画対応頁
具体的な施策について (他の分野と連携した利用促進)	観光分野においては、すでに周辺市町との広域連携を行っているところですが、生活交通においても、周辺市町と一体となって協議すべき課題が多いことから、新たに「広域連携に関する調査研究や協議」に関して記載しました。	P39